

今回は、第1回アクティブ・ラーニング講座に係る情報をお伝えします。講師はディスカッションや産学連携による商品企画をはじめとした Problem-based learning 方式を実践されている中京大学総合政策学部教授の坂田隆文先生で、1年生全員が受講しました。

第1回アクティブ・ラーニング講座

日 時：平成27年6月2日（火）第6限～7限
 講座名：「**アクティブ・ラーニングの意味と意義について**」
 会 場：本校体育館

【講演の内容】

なぜ大学に進学するのか、大学で何を学び、どう過ごすか、大学卒業後はどうなっていたいかなどを問いかけられ、現在の就職状況に触れながら、社会に出てから必要な能力について語られました。また、これからの社会に必要なコミュニケーション能力、主体性、協調性を今の学生時代につけていくためには、「**自分で考え、自分で動くアクティブ・ラーニング**」が必要であること、そのためには常に「**私はこう思うから、こうしたい**」「**こう考えるから、こう判断する**」と考え続けると同時に、それに伴う責任は自分がかつことを意識して、**能動的に学習・生活することが大切**と話されました。その後、今後の予定として、「高校生に売れる筆箱」を関高生が企画できるように、チーム分け、チームビルディングを行った後、企画立案、企画内容の発表、評価・講評というステップでこのプロジェクトが進められていくこととお話しされました。



【生徒の感想】

■今回の講座を受けて、アクティブラーニングとは、「主体的に学ぶこと。誰かに言われて進学したり、なんとなく進学したりするのではなく、大学へ行った後の世界を想定し、自分で考えて行動すること。学力だけでなくコミュニケーション能力や社会性、協調性を高めること。」なんだと理解することができました。また、資格を何も取らないで就職活動をしていた人が、7、8個ほどの企業から内定をもらっていたことに衝撃を受けました。「自分はこう思う」「自分はこうしたい」など、自分の意見をしっかり持つことの大切さを学びました。しかし、自己主張ばかりでなく、他人の意見も尊重し、新しい考えを知ることも大切だと思います。「**自分から**」他人の考えを受け入れていくことこそが「**グローバル**」な世界を創っていくと思うからです。だから、まずは**自分の意見を持つ。それを積極的に伝える**。そこで、**他人の意見もしっかり聞き、またさらに自分の意見を持つ。そんな内容の濃い討論ができるようにしたいです。**（男子生徒）

■今日の講座で、【何事にも自分から】というのが本当に大事だと思いました。私は中学生のときに生徒会をしていました。その時も周りの先生に自分で考えて、自分から行動するようにと言われました。それを今日の講座で思い出すことができました。今の自分の行動を振り返ってみると、本当に受け身であり、自分から行動する場面が全くありません。特に、最近勉強が頑張りに出したのも中間考査が近いからであり、それに対しても受け身です。今日の坂田先生の話の聞いていると、自分から動かなくては誰も助けてはくれないし、将来私が社会人になった時にとても困ることが分かりました。だからこそ、**自分で考え、自分から行動していきたい**と思いました。（女子生徒）